



挑戦することは素晴らしい！

少し前になりますが、日本テレビとスポーツ庁が主催して、日本全国の小学校へ日本代表やオリンピックを派遣する「トップアスリート派遣事業」として9月11日に本校へ、元ソフトボール日本代表の三科真澄さんが来校しました。今回は6年生を対象に講義と実技講座を開催しました。幼少期から競技に取り組んだ経緯であったり、選手として競技に取り組んでいた時の気持ちや御苦労であったり、とても貴重な話を聞くことができました。2度のオリンピック出場を果たし、2大会ともにメダリスト（アテネ：銅、北京：金）となり、世界の頂点での活躍の裏には多くの御苦労があったことも伺いました。一度は代表を辞退し、後進に道を譲ろうとしたこともあったそうです。しかし、ソフトボールの楽しさを改めて実感し、競技することの素晴らしさを感じたそうです。世界の頂点からでしか見えない景色が、そこにはあったと思います。だからいまは、全国を回り競技の普及であったり、スポーツの素晴らしさを伝えてるそうです。

世の中にはスポーツに限らず、多くのことに挑戦したり、頑張ったりしている子供たちが多くいます。私たち大人は、ついそんな子供に過度な期待を寄せてしまうことがあります。もちろん、わが子や教え子に期待することは必要だし、大切なことではあります。大人もですが、何かに集中して取り組んだり、頑張って努力したりすることは素晴らしいことです。しかし、全員が1番をめざすことはできませんが、1番になれるのは一人だけです。そこを大人が理解し、子供たちと一緒に取り組んでいくことが大切ではないでしょうか。言い換えると、1番をめざすことではなく、自分の力を高めることをめざすことに重点を置くことが大切ではないでしょうか。また、昔からよく「努力は裏切らない」といいますが、必ずしも努力が結果に結びつかない時もあります。

「裏切らない」とは決して結果ではなく、努力して自分自身の多くの力が高まるということだと思います。いずれにしても、何かに夢中になったり、何かに真剣に取り組んだりすることは、人生の中でかけがえのない財産になります。子供たちには多くのことに挑戦してほしいと願っています。

交通社会の一員としての自覚

「自転車の違反行為に青切符！ 改正道路交通法が2024年5月17日に可決・成立」最近報道等でよく見聞きするようになりました。今現在は施行に向け準備が進められています。2年以内に施行され自転車を運転する16歳以上が対象となります。山梨県は公共交通機関が発達していないため、移動手段として自動車や自転車に頼ることが多くあります。小学生においても運転者として交通社会の一員としての自覚と責任を考えたり、持たせたりすることは大切だと思います。ヘルメットの着用が努力義務となって数年が経ちますが、自転車の運転者を守るということは、結果的に周りの人も守ることにつながります。学校でも毎年交通安全については指導をしていますが、各家庭においても子供と一緒に「自分の命を守る」「交通社会の一員としてできること」について、話題にさせていただきたいと思います。痛ましい事故は、いつ、どこで、だれに起こるかわかりません。家族全員笑顔のためによろしく願います。